

まもろう子じをたち つながろう私たち

第4回 in 米沢

震災後からボランティアとして東北各地で活動してきたメンバーが、米沢でワークショップを開催します。からだを動かしたり、歌を歌ったり、絵を描いたり、『アドベントの庭』ではライアー（小さなハーブ）の調べに耳を傾けながら、豊かな時間を一緒にしましょう。

2013年12月1日(日) 9:30~13:00

定員 大人 30名 子ども 20名

会場 米沢市松川コミュニティーセンター 米沢市通町6丁目2番14-25 (山形県立米沢女子短期大学横)

参加費 大人 2,000円 子ども 1,000円 (避難者の方は無料)

- ※ 申し込み締め切り：11月23日(土)
- ※ 定員になり次第、お申し込みは終了させていただきます。
- ※ 参加費のお支払いは当日受付にてお願いします。

問合せ (15:00以降) TEL 0238-24-6187 (おひさまえん)

参加申し込み方法 裏面記載欄にの必要事項を記入の上、FAXもしくはメールしてください。



プログラム

- 第1部** 9:15~9:30 始まりの会 ライアー 杉本照代
9:30~11:30 ワークショップ
大人▶水彩・歌唱療法・ボートマ体操
子どものお部屋▶(小学生)水彩・オイリュトミー
(幼児)リズム遊び、ランタンづくりなど
※ 大人のワークショップは先着順で希望のコースをお選びいただけます。
- 第2部** 11:45~12:45 『アドベントの庭』(ライアーや歌とともに/大人は見守り)
うずまきの道の真ん中には、ろうそくの光が揺れています。ゆっくり道をたどりながら進み、その光をいただき、再び戻ってきます。アドベントの庭は、シュタイナー学校で行われているクリスマス前の子どもの行事です。内に灯す光を体験ください。
12:45~12:50 終わりの会
※保育、あります。

workshop
水彩「いきいきと感情に語りかける色彩」講師 小川千帆・小林由香
歌唱療法「身体を楽器のように響かせて」講師 平井久仁子
ボートマ体操「有機的な動きで心身の調和を」講師 天鼓

私たち「教育・芸術・医療でつなぐ会」は、震災後の緊張からくる不調、放射性物質の影響によると思われる不調などに向き合い、自分たちの心やからだ、子どもたちをどのように守れるのか、探ってきました。

このワークショップの担当者はそれぞれが被災地支援の経験をもっており、人間の心とからだのバランスを取り戻し、本来の健康への力を発揮していく姿を経験しています。

今回のワークショップでは厳しい冬に向けての準備です。雪深くなる前のひとときを、あたたかく集いませんか？ 震災後3回目の冬を心に光をともして皆で乗り切りましょう。

多くの方のご参加をお待ちしています。

教育・芸術・医療でつなぐ会



WORKSHOP

◆水彩(ぬらしの技法) 講師 小川千帆・小林由香

—いきいきと感情に語りかける色彩—

水でぬらした紙に色を広げる「ぬらしの技法」で絵の具を使うと、色はきらきらと紙の上を動きます。水という媒体によって色彩は私たちの感情に語りかけるのです。私たちは色の働きかけて心の領域をいきいきと活発にすることができます。漠然として先の見えない不安をかかえる今日、心のバランスを整える色の世界をぜひ実感してください。

◆歌唱療法(アンカヴァーリング・ザ・ヴォイス) 講師 平井久仁子

—身体を楽器のように響かせて—

アンカヴァーリング・ザ・ヴォイス(声にかけられた覆いを取り除くという意味)では、人間の声は本来、正しく美しいと考えています。心や体の緊張・筋肉の衰えなどによって本来の声の輝きを損なっている原因を自身の声や身体に耳を澄まして、取り除くための取り組みをします。普段歌う機会がない方、歌は苦手とおっしゃる方もどうぞおいて下さい。もちろん歌の好きな方もお待ちしております。

◆ボートマ体操(Spatial Dynamics) 講師 天鼓

—有機的な動きで心身の調和を—

芸術活動は魂の体験の広がりをもたらし、心身の密接な相互作用を促します。からだは心や精神を奏でる楽器であり、身体は魂の諸能力のための可塑的で調和的な器官となります。今回のWSでは、シュタイナーが考案し、フリッツ・ボートマがつくりあげたエクササイズを用い、敬意を込めて自らの身体に向かい合うこと、自身の魂が求めるからだの動きを探ります。

*激しい動きはありませんが、室内用の運動靴をご用意ください。

子どものお部屋 講師 横手千代・宮地陽子・江崎桂子・高橋和子

幼児と小学生対象。水彩、オイリュトミー、リズム遊び、ライアー演奏などを体験していただきます。呼吸や生活の乱れを整え、生命力・免疫力を強めましょう。幼児(4歳児以上)・小学生の皆さんのご参加お待ちしております。

山形賢治の学校

1996年に山形賢治の学校事務局を発足しました。

賢治の学校とは、「つなぐのち」を合言葉に、NPO法人 東京賢治の学校前代表の鳥山敏子さんが、全国を駆け回り展開していった学びと動きの総称です。『世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はありえない』という宮沢賢治の精神に基づいた賢治の学校の学びの中から、山形賢治の学校の活動が始まりました。

山形賢治の学校は、「子どもたちが生きる希望のもてる社会をつくろう、大人の責任において」を基本理念として、シュタイナー教育を学びながら、親と教師がともに、子どもが安心して過ごし、成長していくことのできる場を作っています。

2006年にシュタイナー教育に根ざす幼児教育の場「おひさまえん」を開設しました。現在(2013年度)11名の園児が在籍し、3名の教師と保護者が協力し学び合いながら運営しています。

教育・芸術・医療でつなぐ会

2011年5月にドイツから震災支援のために来日した「教育芸術友の会」のメンバーを受け入れる際、共に活動した日本側ボランティアスタッフが「自分たちに今後何ができるか」ということを探り続け、正式な会として立ち上げたもの。現在までに、いわき、仙台、石巻、気仙沼、福島、米沢、東京で活動を行っている。主な活動内容は以下のとおり。メンバーは約40名。

1. 教育・芸術的支援(子ども対象): リズム遊び、絵画、音楽、オイリュトミー、人形劇、語り聞かせなど(大人対象): 講演(教育や放射能、トラウマ学など) ワークショップ(絵画、オイリュトミー、ボートマ体操、グリーフケアなど)
2. 医療的支援(子ども・大人対象): 医療相談、各種芸術療法(個人/小グループ)、マッサージ(アインライプングまたはリズムカルマッサージセラピー) など

参加お申し込み方法

●下記にご記入いただきFAXでお送りください。FAX 0238-24-6187

●メールの場合は、下記要項をご記入の上、ご送信ください。takahashi-hd@hotmail.co.jp (高橋秀昭)

お名前

ご住所

TEL

Mail Address

ご希望のワークショップ、第1希望に1を、第2希望に2をつけてください。

水彩

歌唱療法

ボートマ体操

こどもワークショップ参加者のお名前

学年

保育の必要な方はお子さんの名前、年齢、そのほかアレルギーなどの有無

終了しました